

K141.63

1

2b



小學簿記

說明部

教師用

文部省

K141.63
1
2b

小學簿記
691

小學簿記

說明部

教師用



文部省

大正
2. 3. 27

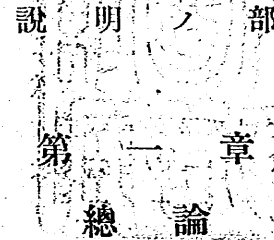
凡 例

1. 本書ハ説明ノ部ト帳簿ノ部トノ二冊ヨリ成リ、高等小學校算術科ニ於テ簿記ヲ課スル場合ノ教師用教科書ニ充ツル爲ニ編纂シタルモノナリ。
2. 本書ニ於テハ極メテ平易ニシテ普通ナル諸種ノ例題五箇ヲ選ビ其ノ第一乃至第四ハ單式簿記ニ依リ第五ハ複式簿記ニ依リテ之ヲ掲ゲタリ。然レドモ教師ハ此ノ五箇ノ例題ヲ悉ク授クルコトヲ要セズ教授時數ノ多少及ビ土地ノ情況ニ應ジ適當ナル一ニノ例題ヲ選ビ且例題中變更ヲ要スル事項アラバ之ヲ更正シ適宜取捨斟酌ヲ加ヘテ教授スベキナリ。
3. 簿記ハ記帳練習ヲナスヲ旨トスルヲ以テ教師ハ一例題ヲ授ケ了リタル毎ニ本例題ヲ參酌シテ之ニ接續スル次期ノ問題ヲ作リテ之ヲ課スベシ。又本書ノ例題ハ一箇月又ハ半箇年ヲ以テ一期トシテ帳簿ノ決算ヲナスト雖モ、決算期ノ如キハ土地ノ慣例又ハ記帳者ノ便宜ニ依ルモノニシテ一定セルモノニアラズ故ニ決算期間數箇月又ハ一箇年ノ問題ヲ作リテ之ヲ課ストモ可ナリ。
4. 教授上注意スベキ事項ハ各、其ノ適當ナル場所ニ之ヲ掲ゲタルヲ以テ教師ハ豫メ本書全部(説明ノ部並ビニ帳簿ノ部)ヲ通讀スルコトヲ要ス。

目 録

第一章	總論.....	1
第二章	第一例題記帳ノ趣旨.....	3
	第一例題.....	4
第三章	第二例題記帳ノ趣旨.....	6
	第二例題.....	7
第四章	第三例題記帳ノ趣旨.....	9
	第三例題.....	10
第五章	第四例題記帳ノ趣旨.....	14
	第四例題.....	15
第六章	第五例題記帳ノ趣旨.....	18
	(一) 取引.....	19
	(二) 勘定科目.....	20
	(三) 貸借.....	21
	(四) 主要帳ト補助帳トノ區別.....	23
	(五) 帳簿ノ決算.....	24
	第五例題.....	28

小 學 簿 記



國ノ東西ニ論ナク時ノ古今ヲ問ハズ苟モ所有財産ヲ貨幣ニテ計算スルコトヲ知ルニ至リテハ之ヲ記録シテ其ノ増減異動ヲ知ルノ必要ヲ認ムベシ。故ニ古來何レノ國ニ於テモ財産ノ増減異動ヲ帳簿ニ記録シ以テ是ニ關スル事實ヲ明カニスルコトヲ務メザルハナシ所謂簿記是ナリ。

簿記ニハ單式ト複式トノ二種アリ。單式簿記ニ依リテ記録セルモノハ誤謬不正ノコトアルモ其ノ誤謬不正タルコトヲ發見シ得ルノ途ヲ具ヘズ又假令正確ニ記録セルモノモ其ノ正確ナルコトヲ知ルノ検査法ヲ有セズ之ニ反シ複式簿記ニ依リテ記録セルモノハ其ノ計算如何ニ複雑ニ互ルトモ苟モ誤謬不正ノコトアラバ厘毛ノ差異ト雖モ其ノ基ヅク所ヲ發見シ得ルナリ。故ニ複式簿記ハ資産負債損失利益ヲ計算スルニ正確ヲ期シ得ル唯一ノ良法トシテ現時世ニ行ハルルナリ。

上述ノ如ク單式簿記ハ其ノ記録ノ正確ナルコトヲ知ルノ途ナク、複式簿記ハ之ヲ具ヘ且如何ナル種類ノ計算ニモ之ヲ應用シ得ルヲ以テ計算組織ノ規模廣大複雑ヲ加フルニ隨ヒ益、複式簿記ノ必要ヲ感ズルニ至ルベシ。然レドモ複式簿記ハ一定ノ原理法則ヲ有スルガ故ニ之ヲ了解スルニ困難ナルノミナラズ其ノ記録ノ手數モ複雑ナリ。サレバ簿記ヲ學ブニハ、世ノ所謂粗ヨリ精ニ入り簡ヨリ繁ニ進ムノ理ニ隨ヒ現金收支ニ依リテ財産ノ異動ヲ知り得ル簡單ナル單式簿記ヨリ入り金錢貸借ノ如キ稍、複雑ナル事項ヲ了解シタル後ニ複式簿記ニ入ルヲ適當トス。

第二章

第一例題記帳ノ趣旨

財産ノ異動増減ヲ處理スルニ當リテ通例何人モ考ヘ付クベキコトハ家計ニ關スル收支計算ナリ。而シテ毎月一定セル現金ノ收入ニ依リテ生計ヲ立ツルモノニアリテハ唯現金ノ收支ヲ明瞭ニセバ其ノ財産ノ異動増減ヲ知り得ベキナリ。勿論單ニ一定セル現金ノ收入ニ依リテ生計ヲ立ツルモノト雖モ必ズ多少ノ財産ヲ有スルガ故ニ、其ノ財産ノ増減ハ即チ其ノ計算期間ニ於ケル損失利益トナルナリ。サレバ今茲ニ記スガ如キ現金出納帳及ビ現金收支要目明細帳ナル二種ノ帳簿ヲ用ヒテ家計ヲ整理スルモノニアリテハ、其ノ決算ニ當リ現金收支要目明細表及ビ財産目錄ヲ作り、各其ノ要目並ビニ合計ヲ前記決算ノ時ニ於ケル財産目錄ト比較シ、以テ所有財産ノ増減異動ヲ知ルベキナリ。以上述べタル方法ハ即チ單式簿記ノ一方法ナリ。

現金收支要目ハ計算ノ種類別ニシテ一定ノモノニアラズ記帳者ガ同種類トシテ考フルモノヲ以テ一要目トシテ可ナリ。故ニ人ニ依リ又ハ家事計算ノ種類ニ依リ多少ノ差異アルヲ免レズ、サレド一旦要目ヲ定メタル上ハ之ヲ變更セザルコトヲ要ス。財産目錄ニ於ケル各要目ノ金額ハ常ニ實際ノ價格ヲ記入シ決シテ實價以外ノ價格ヲ記入スベカラズ、而シテ財産目錄ニ記入スベキモ

ノハ現金收支要目ニアルト否トヲ問ハザルナリ。マタ現金收支要目ニ記入セルモノハ其ノ多クハ費用ニ過ギザレバ是等ハ財産目錄ニ記入スベキモノニアラズ唯要目ニ記入セルモノノ中現在手許ニアリテ實際價格ヲ有スルモノノミヲ財産目錄ニ記入スベキモノトス。

本例題ニ於ケル記帳計算處理法ハ一定ノ現金收入ニ依リテ生計ヲ營ムモノノ標準ヲ示セリト雖モ尙モ現金收入ニ依リテ生計ヲ營ムモノニハ廣ク應用シ得ベキモノナリ。

備考 收支要目ノ設定ニ就キテハ第二例題第三例題第四例題ノ何レニ於テモ同一ナリト知ルベシ。

第一例題

大正二年四月一日現在資産次ノ通リ

現金	手許有高金參拾圓也
被服	見積代價金五拾圓也
什器	見積代價金拾五圓也
一 日	小學校用書籍ヲ買入ル此ノ代金七拾錢也
同 日	反物ヲ買入ル此ノ代金拾貳圓也
二 日	兒童用筆墨紙鉛筆ヲ買入ル此ノ代金五拾錢也
四 日	菓子ヲ買入ル此ノ代金貳拾五錢也
六 日	郵便貯金トシテ金參拾錢ヲ預入ル
八 日	茶碗ヲ買入ル此ノ代金貳拾五錢也

九 日	授業料ヲ支拂フ此ノ金貳拾錢也
十 日	郵便切手葉書ヲ買入ル此ノ代金四拾五錢也
十二日	果物ヲ買入ル此ノ代金拾五錢也
十三日	鯉節ヲ買入ル此ノ代金貳拾五錢也
十五日	進物用鶏卵ヲ買入ル此ノ代金六拾錢也
十六日	下駄及ビ足駄ヲ買入ル此ノ代金壹圓五拾錢也
十八日	髮油竝ビニ元結ヲ買入ル此ノ代金五拾錢也
十九日	茶ヲ買入ル此ノ代金七拾錢也
二十日	洋傘ヲ買入ル此ノ代金四圓五拾錢也
廿一日	煙草ヲ買入ル此ノ代金五拾錢也
廿二日	砂糖ヲ買入ル此ノ代金六拾錢也
廿四日	洗濯賃ヲ支拂フ此ノ金七拾錢也
廿五日	給料ヲ受取ル此ノ金壹百圓也
廿六日	家族一箇月分小遣金七圓五拾錢ヲ支拂フ
廿七日	新聞及ビ雜誌代金七拾錢ヲ支拂フ
廿八日	家賃金拾八圓ヲ支拂フ
三十日	米屋拂金九圓貳拾錢也
同 日	魚屋拂金八圓五拾錢也
同 日	八百屋拂金五圓參拾錢也
同 日	酒屋拂金五圓五拾錢也
同 日	薪屋拂金六圓五拾錢也
同 日	下婢給料金參圓ヲ支拂フ
同 日	牛崗屋拂金參圓五拾錢也
同 日	車屋拂金貳圓也
同 日	貯蓄銀行へ預入ル此ノ金五圓也

第三章

第二例題記帳ノ趣旨

前例題ニ於テハ專ラ一定ノ現金收入ニ依リテ生計ヲ立ツルモノノ計算處理法ヲ示セリ。本例題ニ於テハ商工業者ノ如キ其ノ營業上ノ財産ト家計ニ屬スル財産トヲ區別シ、營業上ノ利益ノ一部ヲ家事費トシ、是ト家計ニ屬スル財産ヨリ得タル收入トニ依リテ生計ヲ營ムモノノ收支記帳ヲ簡單ニ處理スル方法ヲ教ヘントス。一定ノ現金收入ニ依リテ生計ヲ營ムモノモ、營業上ノ收益ノ一部ト家計ニ屬スル財産ヨリ得タル收入トノ二ツニ依リテ生計ヲ營ムモノモ、其ノ現金收支ノミニ依リテ生計ヲ立ツル點ニ於テハ少シモ異ナラズ。故ニ之ヲ帳簿ニ記錄シ整理スルニモ別段ノ差異アルモノニアラズ、時ニ依リテ多少收支要目ニ差ヲ生ズルニ過ギズ。サレバ本例題ノ記帳ニ用フル帳簿及ビ計算書類ハ前例題ノモノト同一様式ヲ用ヒテ整理ヲナシ得ベキナリ。然レドモ前例題ニ比シ多少財産ノ種類多キヲ常トスルガ故ニ特ニ財産目錄ノ調製ニ注意シ且實價ヲ記入スルコトヲ忘ルベカラズ。若シ實價ヲ記入スルコトヲ誤ラバ各期ニ於ケル財産ノ増減ヲ比較スルコトハ能ハザルハ勿論、家計處理ノ方針ヲ定ムルコト能ハザルベシ。

第二例題

大正二年六月一日現在資産次ノ通り

現金 繰越殘金參拾五圓也
 公債證書 額面金五千圓也 壹百圓替
 地面付家屋 見積代價金八千圓也
 什器及ビ消耗品 見積代價金五百圓也

- 二 日 反物ヲ買入ル此ノ代金貳拾圓也
- 三 日 兒童用筆墨紙ヲ買入ル此ノ代金八拾錢也
- 四 日 被服仕立賃金壹圓八拾錢ヲ支拂フ
- 五 日 郵便切手及ビ葉書ヲ買入ル此ノ代金六拾錢也
- 六 日 電燈料金壹圓貳拾錢ヲ支拂フ
- 七 日 菓子ヲ買入ル此ノ代金五拾錢也
- 八 日 進物用鶏卵ヲ買入ル此ノ代金壹圓也
- 九 日 茶碗ヲ買入ル此ノ代金七拾五錢也
- 十 日 兒童用書籍ヲ買入ル此ノ代金九拾錢也
- 十一日 營業方ヨリ第一銀行宛金五拾圓ノ小切手ヲ受取り同行ニ就キテ現金ニ引換フ
- 十二日 下駄及ビ足駄ヲ買入ル此ノ代金參圓也
- 十四日 授業料金貳圓八拾錢ヲ支拂フ
- 十五日 疊替ヲナシ疊表代金及ビ手間賃ヲ支拂フ此ノ金拾五圓也
- 十七日 生命保險料金拾圓五拾錢ヲ支拂フ

十九日	經節及ビ砂糖ヲ買入ル此ノ代金貳圓也
二十日	煙草ヲ買入ル此ノ代金貳圓五拾錢也
廿二日	洗濯賃ヲ支拂フ此ノ金壹圓五拾錢也
廿四日	兒童用小間物ヲ買入ル此ノ代金壹圓七拾錢也
廿五日	營業方ヨリ第一銀行宛金壹百圓ノ小切手ヲ受 取リ同行ニ就キテ現金ニ引換ラ
同日	諸税金八圓五拾錢ヲ支拂フ
廿六日	家族一箇月分ノ小遣金拾五圓ヲ支拂フ
廿七日	新聞及ビ雜誌代金壹圓ヲ支拂フ
廿八日	公債利息ヲ受取ル此ノ金壹百貳拾五圓也
同日	金壹百貳拾五圓ヲ貯蓄銀行へ預入ル
三十日	米屋拂金拾圓五拾錢也
同日	魚屋拂金拾八圓五拾錢也
同日	八百屋拂金七圓五拾錢也
同日	酒屋拂金拾圓也
同日	薪屋拂金九圓也
同日	牛肉屋拂金七圓也
同日	車屋拂金參圓也
同日	下婢給料金六圓ヲ支拂フ

第四章

第三例題記帳ノ趣旨

前例題ニ於テハ商工業者ノ家計ニ關スル帳簿記入法ノ一例ヲ舉ゲタリ。本例題ニ於テハ其ノ家事費收入ノ原因タル營業ニ關スル帳簿記入法ヲ簡單ナル小賣業者取引ノ例ニ依リ單式簿記ヲ以テ示サントス、即チ本例題ハ單式簿記ヲ以テ記入セル普通商業簿記ノ一例ナリ。本例題帳簿記入法ハ前例題記入法ヨリモ稍、複雑ナルヲ以テ其ノ帳簿ノ種類モ前例題ニ於テハ唯僅ニ現金出納帳及ビ收支要目明細帳ノ二種ニ過ギザリシガ、本例題ニ於テハ現金出納帳、仕入帳、賣上帳、日記帳、元帳ノ各種ヲ使用セリ。元來單式簿記ニ於テ日記帳及ビ元帳ニ記入スベキモノハ他人ヨリ借金ヲナシタルトキ、他人へ借金ヲ返濟シタルトキ、他人ニ對シ貸金ヲナシタルトキ又ハ他人ヨリ貸金ノ返濟ヲ受ケタルトキノ四箇ノ場合ニ限ルモノナリ。而シテ借金ヲナシタルトキト貸金ノ返濟ヲ受ケタルトキトハ其ノ相手方ノ貸方ニシテ、借金ヲ返濟シタルトキト貸金ヲナシタルトキトハ其ノ相手方ノ借方ナリトス。此ノ四箇ノ場合ノ外ハ總ベテ或計算事項ニ對シ其ノ種類毎ニ帳簿ヲ設ケテ計算ノ整理ヲ計ルヲ常トスルガ故ニ、日記帳、元帳以外ノ帳簿ノ種類ハ營業ノ種類ト取引ノ繁閑トニ依リテ一定セルモノニアラス。本例題ニ於テハ前述ノ如ク上記二帳簿ノ外ニ仕入帳、賣

上帳、現金出納帳ヲ用ヒタレドモ現金出納帳ノミヲ用ヒテ仕入帳、賣上帳ヲ省クトモ計算ヲナシ得ザルニアラズ、唯然ルトキハ其ノ仕入高、賣上高ヲ何時ニテモ一見シテ知リ能ハザルノ不便アルナリ。

單式簿記ニ於テハ一般ニ帳簿ノ設備ノ如何ニ拘ラズ損益ノ計算ハ其ノ決算當時ニ於ケル資産合計ヨリ他人ニ對スル負債ヲ差引キタル高ト當初營業ニ元入シタル純資本高トノ差ヲ比較シテ之ヲ知ルベキナリ。

第三例題

大正二年七月一日現金壹千圓ノ元入ニテ營業ヲ始ム

- 一 日 工藤八藏ヨリ家賃毎月金貳拾五圓ノ割ニテ家屋壹棟ヲ借入レ此ノ敷金トシテ現金五拾圓ヲ差入ル
- 二 日 暖簾量器衡器其ノ他ノ什器ヲ買入ル此ノ代金五拾五圓ヲ現金ニテ支拂フ
- 同 日 帳簿筆墨紙收入印紙其ノ他ノ消耗品ヲ買入ル此ノ代金七圓八拾錢ヲ現金ニテ支拂フ
- 三 日 高橋商店ヨリ次ノ通り現金ニテ買入ル
白米 參拾俵 四斗入 四升五合替
- 四 日 唐臼ノ据付費金四拾圓ヲ現金ニテ支拂フ
- 同 日 現金賣上高
白米 四石 四升貳合替

- 五 日 菊地太助へ掛ニテ賣渡ス
白米 四斗 四升貳合替
- 同 日 現金賣上高
白米 貳石 四升貳合替
- 六 日 原田商店ヨリ掛ニテ買入ル
玄米 五拾俵 四斗入 五升五合替
- 七 日 笹原龜助へ掛ニテ賣渡ス
白米 四斗 四升貳合替
- 同 日 現金賣上高
白米 參石貳斗 四升貳合替
- 九 日 現金賣上高
白米 四石 四升參合替
- 十 日 田原作助へ掛ニテ賣渡ス
白米 六斗 四升參合替
- 十二日 五十嵐金藏へ掛ニテ賣渡ス
白米 六斗 四升參合替
- 同 日 現金賣上高
白米 貳石四斗 四升參合替
- 十四日 高橋商店ヨリ現金ニテ買入ル
玄米 四拾俵 四斗入 五升六合替
- 同 日 家事費トシテ金拾五圓ヲ現金ニテ支拂フ
- 十五日 現金賣上高
白米 四石 四升參合替
- 同 日 菊地太助へ掛ニテ賣渡ス
白米 四斗 四升參合替

十七日 現金賣上高
 白米 參石貳斗 四升參合替

同日 笹原龜助へ掛ニテ賣渡ス
 白米 四斗 四升參合替

十九日 佐藤文吉へ掛ニテ賣渡ス
 白米 六斗 四升參合替

同日 現金賣上高
 白米 四石八斗 四升參合替

廿二日 現金賣上高
 白米 貳石四斗 四升參合替

同日 田原作助へ掛ニテ賣渡ス
 白米 六斗 四升參合替

廿四日 原田商店ヨリ掛ニテ買入ル
 玄米 五拾俵 四斗入 五升四合替

同日 現金賣上高
 白米 貳石 四升貳合替

廿六日 菊地太助へ掛ニテ賣渡ス
 白米 四斗 四升貳合替

同日 現金賣上高
 白米 四石 四升貳合替

廿八日 五十嵐金藏へ掛ニテ賣渡ス
 白米 六斗 四升貳合替

同日 現金賣上高
 白米 四石 四升貳合替

廿九日 佐藤文吉へ掛ニテ賣渡ス
 白米 四斗 四升貳合替

三十日 本月分家事費トシテ金貳拾五圓ヲ現金ニテ支拂フ

同日 本月分家事費振替自家使用飯米高
 白米 六斗 四升貳合替

卅一日 本月分車力賃ヲ現金ニテ支拂フ此ノ金六圓也

同日 掛代金次ノ通リ現金ニテ受取ル
 菊地太助 金貳拾八圓參拾五錢
 笹原龜助 金拾八圓八拾貳錢六厘
 田原作助 金貳拾七圓九拾錢六厘
 五十嵐金藏 金貳拾八圓貳拾參錢九厘
 佐藤文吉 金貳拾參圓四拾七錢七厘

同日 原田商店へ掛代金ヲ現金ニテ支拂フ此ノ金七百參拾四圓六厘也

同日 本月分諸雜費ヲ次ノ通リ現金ニテ支拂フ
 家賃 金貳拾五圓也
 給料 金七圓也
 店用諸雜費 金五圓也

第五章

第四例題記帳ノ趣旨

本例題ニ於テハ前三例題ノ如ク單式簿記ニ依リ普通ノ農家ニ於テ見ルガ如キ營業上ニ於ケル收入支出ト家計上ニ屬スル收入支出トヲ混合シ以テ家計ヲ立ツル場合ノ計算處理法ヲ示サントス。斯ク營業上ニ於ケル收入支出ト家計上ニ屬スル收入支出トヲ混合スルヲ以テ之ヲ處理スルニ當リ其ノ使用ノ帳簿自ラ多岐ニ互ラザルヲ得ザルナリ。即チ本例題ノ記帳ニ於テ現金ニ關スルコトハ現金出納帳ニ記入シ、金錢貸借ニ關スルモノハ日記帳及ビ元帳ニ記載シ、家事費ノ支拂ニ屬スルモノハ雜費内譯帳ニ記載シ之ガ合計ヲ現金出納帳ニ記入スル所ノ處理法ヲ採レリ。而シテ財産ノ異動増減ハ其ノ計算期間ノ始ト終トニ於ケル財産目錄ノ比較突合せニ依リテ之ヲ知ルノ外途ナキナリ。

收入ノ途多岐ニ互リ其ノ收入ノ因ル所ヲ明カニセントスルニハ收入内譯帳ヲ作り之ニ記入シタル後現金出納帳ニ記入スベキナリ。又臨時雇人ヲ使用スルトキニハ雇人賃錢明細帳ヲ作りテ各雇人毎ニ勞働月日及ビ其ノ支拂金額等ヲ記入シ之ヲ明カニスベキナリ。

現今我ガ國ニ於ケル農家ハ一般ニ營業上ニ於ケル收入ト家計上ニ屬スル財産ノ收入トヲ混合シテ生計ヲ立ツルガ故ニ、本例題ハ一般多數ニ於ケル例ニ依リテ記帳

ノ方法ヲ示セリ。サレド斯カル計算處理法ニテハ營業上ニ於ケル成績ノ良否ヲ區別スルニ由ナキナリ。之ニ反シ兩者ヲ區別シテ計算處理ヲナストキハ明瞭ニ其ノ成績ノ良否ヲ判別スルコトヲ得ベキナリ。

第四例題

大正二年一月一日現在資産次ノ通り

現金	手許有高金參拾五圓五拾錢也
田地拾町五段歩	見積代價金壹萬六千八百圓也
畑地五町歩	見積代價金五千圓也
宅地及ビ建物	見積代價金壹千圓也
銀行預金	現在高 金六百圓也
公債證書	額面金五百圓也 金九拾五圓替 金四百七拾五圓也
農具及ビ雜品	見積代價金壹百參拾圓也
牛馬	見積代價金七拾圓也
藏米	參百參拾五俵 金七圓貳拾錢替 金貳千四百拾貳圓也
家具及ビ消耗品	見積代價金四百圓也

十日 佐藤文太郎へ現金ニテ賣渡ス

藏米 參拾俵 金七圓貳拾錢替

十三日 地租及ビ附加税金百〇八圓貳拾九錢ヲ支拂フ

- 一月廿五日 所得税及ビ附加税金拾貳圓九拾貳錢ヲ支拂フ
- 卅一日 本月中諸雜費支拂高合計金拾圓五拾錢也
- 二月五日 佐藏文太郎へ現金ニテ賣渡ス
藏米 五拾俵 金七圓貳拾五錢替
- 十日 肥料買入代金百五拾貳圓ヲ支拂フ
- 廿五日 地租及ビ附加税金百〇八圓貳拾九錢ヲ支拂フ
- 廿八日 本月中諸雜費支拂高合計金九圓七拾錢也
- 三月一日 銀行預金ヲ引出ス此ノ金百五拾圓也
- 同日 工藤喜助へ利率年壹割期限四箇月ニテ金七拾圓ヲ貸渡ス
- 三日 中村作兵衛へ利率年壹割期限四箇月ニテ金八拾圓ヲ貸渡ス
- 十日 茶器ヲ買入ル此ノ代金貳圓五拾錢也
- 二十日 木村半兵衛へ現金ニテ賣渡ス
藏米 參拾俵 金七圓貳拾五錢替
- 廿五日 所得税地租及ビ附加税金百貳拾壹圓貳拾壹錢ヲ支拂フ
- 卅一日 本月中諸雜費支拂高合計金拾貳圓五拾錢也
- 四月五日 銀行預金ヲ引出ス此ノ金六拾圓也
- 同日 山口萬助へ利率年壹割期限參箇月ニテ金六拾圓ヲ貸渡ス
- 十五日 反物ヲ買入ル此ノ代金貳拾五圓也

- 四月二十日 農具買入代金及ビ修繕費ヲ支拂フ此ノ金參拾圓七拾錢也
- 廿二日 銀行預金ヲ引出ス此ノ金四拾圓也
- 三十日 本月中諸雜費支拂高合計金貳拾壹圓也
- 五月十日 臨時雇人費金四圓ヲ支拂フ
- 十六日 臨時雇人費金五圓ヲ支拂フ
- 二十日 臨時雇人費金貳圓四拾錢ヲ支拂フ
- 廿五日 臨時雇人費金參圓ヲ支拂フ
- 同日 木村半兵衛へ現金ニテ賣渡ス
藏米 貳拾五俵 金七圓參拾錢替
- 同日 地租及ビ附加税金百〇八圓貳拾九錢ヲ支拂フ
- 三十日 臨時雇人費金五圓ヲ支拂フ
- 卅一日 本月中諸雜費支拂高合計金拾壹圓五拾錢也
- 六月九日 臨時雇人費金拾圓ヲ支拂フ
- 十日 九ト商會ヨリ繭賣渡代金ヲ受取ル此ノ金參百七拾圓也
- 十二日 臨時雇人費金拾四圓四拾錢ヲ支拂フ
- 二十日 佐藤文太郎へ現金ニテ賣渡ス
大麥 七拾俵 金貳圓五拾錢替
- 廿四日 公債利息金拾貳圓五拾錢ヲ受取ル
- 廿五日 婦人用小間物ヲ買入ル此ノ代金貳拾圓也
- 三十日 本月中諸雜費支拂高合計金拾圓五拾錢也
- 同日 本期間自家使用飯米高藏米四拾俵也

第六章

第五例題記帳ノ趣旨

以上ノ四例題ニ於テハ單式簿記ニ依リ記帳ノ方法ヲ示セリ。元來單式簿記ニアリテハ一定ノ法則又ハ原理ト稱スベキモノ存在スルコトナク、第四章ニ於テ述ベタルガ如ク唯他人ヨリ金ヲ借リタルトキ、他人へ金ヲ貸シタルトキ、他人へ借金ヲ返却シタルトキ、他人ヨリ貸金ノ返却ヲ受ケタルトキノ四箇ノ場合ニ之ヲ日記帳ニ記入シ元帳ニ轉記スルニ過ギズ、其ノ他ノ計算ニ關シテハ記帳者己ノ欲スル所ニ隨ヒ計算ノ種類別ヲナシ帳簿ヲ設ケテ計算ノ便ヲ計ルナリ。サレバ他人ニ對スル金錢ノ貸借ハ其ノ元帳及ビ日記帳ニ依リテ明カニスルコトヲ得ト雖モ其ノ他ノ計算ニ關シテハ唯單ニ帳簿ヲ設ケテ之ニ記入シ置クニ止マルナリ。例ヘバ前例題ニ於テ見タルガ如ク現金ノ出納ニ關シテハ現金出納帳、雜費ノ明細ヲ知ルニハ雜費內譯帳、雇人各人別ニ於ケル賃錢ノ明細ヲ知ルニハ雇人賃錢明細帳ヲ設クルノ類是ナリ。故ニ單式簿記ニテハ損失利益資産負債ノ異動増減ノ如キハ一帳簿ニ依リテ之ヲ知ルコトヲ得ズ、假令前例題ニ於テ見タルガ如ク其ノ計算期間ノ始ト終トニ於ケル財産目錄ノ金額ニ依リ負債ヲ加減シテ其ノ損失利益ヲ知ルヲ得ト雖モ其ノ結果ノ果シテ正確ナルヤ否ヤヲ知ルニ由ナキガ故ニ之ニ安ンズルコトヲ得ズ、加之誤謬不正

ルモ之ヲ見出スニ一定ノ途ナクシテ頗ル困難ナリ。故ニ單式簿記ハ唯簡單ナル計算處理法ニ用ヒテ可ナルモノニシテ簿記ノ世ニ重用セララル所以ノモノハ複式簿記ニアリ。複式簿記ニ依リテ記錄セルモノニアリテハ誤謬不正ヲ見出スニ一定ノ途存在スルノミナラズ一帳簿ノ下ニ於テ正確ニ損失利益ヲ知り且資産負債ノ異動増減ヲ明カニスルコトヲ得ベシ。依リテ本例題ニ於テハ複式簿記ニ依リテ記帳ノ方法ヲ示サントス。而シテ其ノ記帳ヲナスニ當リ複式簿記ニ關スル大要ニ通ズルノ必要アルヲ以テ次ニ其ノ原理法則ニ就キテ概要ヲ述フベシ。

(一) 取引

複式簿記ニ於テ總ベテ或者ノ財産ニ異動増減ヲ及ス所ノモノハ悉ク之ヲ取引ト稱ス。而シテ取引ニ於テ渡シタルモノト受ケタルモノトハ必ズ其ノ代價常ニ相等シキモノニシテ決シテ不等ノモノニアラザルコトヲ了解スルハ極メテ肝要ノコトナリ。若シ之ヲ了解セザル如キコトアラバ到底複式簿記ヲ了解スルコト能ハザルナリ。例ヘバ今茲ニ甲乙兩人アリテ甲ハ乙へ千圓ノ物品ヲ現金ニテ賣渡シタルトスレバ甲ニ於テハ其ノ渡シタルモノハ千圓ノ物品ニシテ受ケタルモノハ千圓ノ現金ナリ、又乙ニ於テハ其ノ渡シタルモノハ千圓ノ現金ニシテ受ケタルモノハ千圓ノ物品ナリ。此ノ如ク如何ナル場合ノ取引ニアリテモ渡シタルモノノ代價ト受ケタルモノノ代價ハ常ニ相等シキナリ。而シテ是等ノ取引

前頁ニ示ス所ノ様式ニ貸借記入ノ例ヲ舉ゲンニ今茲ニ甲ナル農家ガ乙ヘ藏米千圓ヲ現金ニテ賣渡シタリトスレバ甲ノ帳簿ニ於テ貸借仕譯ハ次ノ如クナルベシ。

借方	貸方
現金 1,000.000	藏米 1,000.000

故ニ甲ノ帳簿ニ於テハ現金勘定ノ借方ニ千圓ト藏米勘定ノ貸方ニ千圓ト記入スベキナリ。

又甲ガ丙ヘ藏米百圓ヲ掛ニテ賣渡シタルトキハ其ノ帳簿ニ於テ貸借仕譯ハ次ノ如クナルベシ。

借方	貸方
丙(人名) 100.000	藏米 100.000

故ニ甲ノ帳簿ニ於テハ丙勘定ノ借方ニ百圓ト藏米勘定ノ貸方ニ百圓ト記入スベキナリ。

次ニ又甲ガ丁ヨリ借金ヲナシ其ノ利息トシテ現金百圓ヲ支拂ヒタリトスレバ其ノ帳簿ニ於テ貸借仕譯ハ次ノ如クナルベシ。

借方	貸方
利息 100.000	現金 100.000

故ニ甲ノ帳簿ニ於テハ利息勘定ノ借方ニ百圓ト現金勘定ノ貸方ニ百圓ト記入スベキナリ。

貸借ノ意義ヲ了解スルニ當リ營業方ト資本主トヲ區別スルコトヲ要ス。故ニ同一人ニシテ自己所有ノ財産ヲ以テ元入ヲナシ營業ヲナストキニハ營業方タル自己ト資本主タル自己トヲ區別シテ考フルヲ必要トス。例ヘバ甲ガ現金壹萬圓ノ元入ヲ以テ營業ヲナストキニハ

其ノ貸借關係ハ次ノ如クナルベシ。

借方	貸方
營業方 10,000.000	資本主(又ハ資本金) 10,000.000
借方	貸方
現金 10,000.000	營業方 10,000.000

上記ノ如キ關係アリテ營業方ノ貸借ハ常ニ平均セラレルモノナルニ由リ之ヲ甲ノ帳簿ニ記録スルニハ現金勘定借方ニ壹萬圓ト資本主勘定貸方ニ壹萬圓ト記入スベキナリ。

(四) 主要帳ト補助帳トノ區別

主要帳トハ取引ノ原始記入ト計算ノ類別即チ勘定科目ヲ記入セル帳簿ヲ謂フ。普通我が國ニテハ日記帳、仕譯帳及ビ元帳ノ三種ヲ主要帳トス。日記帳トハ取引ノ起ル毎ニ曆日ノ順序ニ隨ヒ之ヲ記入スル帳簿ニシテ、仕譯帳トハ日記帳ノ記載ニ隨ヒテ其ノ取引ノ種類即チ各勘定科目ニ依リテ貸借仕譯ヲナシ以テ元帳ヘ轉記スルノ用ニ供スル帳簿ナリ。元帳ハ仕譯帳ニ記載セル勘定科目ニ隨ヒ各口座ヲ開キ仕譯帳ノ借方ニアルモノハ元帳ノ其ノ勘定口座ノ借方ニ仕譯帳ノ貸方ニアルモノハ元帳ノ其ノ勘定口座ノ貸方ニ記入セル帳簿ニシテ、其ノ各勘定ニ依リ資産負債損失利益ノ状態ヲ何時ニテモ明瞭ニ知リ得ルナリ。

前述ノ如ク主要帳ハ普通之ヲ日記帳、仕譯帳、元帳ノ三種ニ區別スト雖モ必ズシモ斯ク三種ニ區別セザルベカラザルモノニアラズ、或ハ日記帳、仕譯帳ヲ合シテ仕譯日

記帳トスルコトアリ、或ハ日記帳、仕譯帳、元帳ノ三種ヲ合シテ元帳一種ニ纏ムルコトアリ、或ハ補助帳ヲ以テ直チニ仕譯・日記帳ニ用フルコトアリテ決シテ一定セルモノニアラズ。

日記帳ハ曆日ノ順序ニ隨ヒ取引ヲ記入セルモノナルガ故ニ一種ノ計算ニ屬スルモノノミヲ明瞭ニ且詳細ニ知ラント欲スルニハ不便ナリ。故ニ是等ノ目的ニ向ヒテ帳簿ヲ設ク、之ヲ補助帳ト謂フ。勿論元帳ノ各勘定口座ニハ一種ノ計算ニ屬スルモノアリト雖モ甚ダ簡單ニシテ唯其ノ金額ヲ知り得ルニ止リ其ノ事項ノ詳細ヲ知ルニ由ナキナリ。サレバ計算ノ整理上補助帳ヲ使用スルハ甚ダ肝要ノコトナリ。本例題ニ於ケル貸付金元帳ノ如キハ即チ是ナリ。

(五) 帳簿ノ決算

前述ノ如ク取引ノ起ルニ隨ヒ各勘定科目ニ依リテ貸借ノ仕譯ヲナシ帳簿ニ記録スルノミニテハ資産負債ノ狀況及ビ損失利益ノ多少ヲ知ルコトヲ得ズ。故ニ或一定期間毎ニ帳簿ノ決算ヲナシ其ノ記入ノ正否、損益ノ多少、資産負債ノ異動ヲ調査スルノ必要アルナリ。

帳簿ノ決算ヲ行フニハ第一ニ記帳ニ誤謬ナキヤ否ヤヲ確メザルベカラズ。而シテ誤謬ノ有無ヲ検査スル爲ニハ先ヅ試算表ヲ調製スルナリ。試算表ニ依リ既ニ帳簿ニ記入セル部分ノ正否ヲ知り得ルモ所有財産ノ價格ノ變動アリタルモノ又ハ帳簿ニ未記入ノモノニシテ既ニ資産トナリ又ハ負債トナルモノアルヲ以テ是等ヲ一

一計算シテ帳簿ニ記入スルニアラザレバ損失利益ノ多少ヲ知ルコト能ハズ。故ニ是等ノ資産及ビ負債ヲ調査シ棚卸表ヲ調製ス。次ニ試算表及ビ棚卸表ヲ考査シテ調製スベキモノハ損益表及ビ貸借對照表ナリ。以下順次ニ試算表、棚卸表、損益表及ビ貸借對照表ニ就キテ説明スベシ。

試算表ハ帳簿ヲ締切ルトキ元帳ノ各勘定科目及ビ其ノ貸方ノ合計金額、借方ノ合計金額ヲ轉記シテ調製セルモノナリ。其ノ貸方借方ノ金額相一致シ且日記帳及ビ仕譯帳ノ合計トモ相一致スルトキハ是等帳簿ノ記載ニ誤ナキナリ。勿論試算表ノ貸借合計及ビ日記帳、仕譯帳ノ合計相一致ストモ絶對ニ帳簿記入ヲ正シキモノナリト謂フヲ得ズ。何トナレバ日記帳記入ノ誤謬或ハ其ノ脱漏或ハ貸借仕譯ノ誤謬或ハ勘定口座ノ記入違ノ如キ誤謬ニ對シテ試算表ハ其ノ誤ヲ見出ス具トナラザルヲ以テナリ。然レドモ試算表ヲ調製スルコトガ複式簿記ニ於テ帳簿記入ノ誤謬ヲ検査スル唯一ノ良法トシテ實際世ニ用ヒラレ且毫モ差支ヲ生ゼザル所以ノモノハ、少シク簿記ノ心得アルモノハ上述ノ如キ誤謬ヲナスコト極メテ稀ナルガ故ナリ。

棚卸表ハ所有財産ヲ各種類ニツキ一調査シ帳簿決算ノ時ニ於ケル實際ノ代價ニヨリ記入シ、又既ニ支拂フベクシテ支拂ハザルモノ、或ハ既ニ受取ルベクシテ受取ラザルモノ、或ハ既ニ支拂ヒタルモノニシテ未ダ資産ニ屬スルモノ、或ハ既ニ受取リタルモノニシテ尙負債ニ屬

スルモノノ如キモノヲ總ベテ記入シテ調製セルモノニシテ帳簿決算ノ用ニ供スルモノナリ。

損益表ハ試算表ト棚卸表トヲ参考シ、勘定科目ニツキ其ノ期間ニ於テ一勘定科目トシテ損失ニ屬シタルモノハ其ノ金額ヲ損失ノ欄ニ、利益ニ屬シタルモノハ其ノ金額ヲ利益ノ欄ニ記入シ、其ノ損失合計ト利益合計トヲ比較スル爲ニ調製セルモノニシテ、其ノ利益合計ガ損失合計ヨリモ多キトキハ其ノ差額ハ其ノ期間ニ於ケル純益ヲ示シ、之ニ反シテ其ノ損失合計ガ利益合計ヨリモ多キトキハ其ノ差額ハ其ノ期間ニ於ケル純損失ヲ示スモノナリ。

貸借對照表ハ試算表ト棚卸表トヲ参考シ、其ノ資産ニ屬スルモノハ其ノ金額ヲ資産ノ欄ニ、負債ニ屬スルモノハ其ノ金額ヲ負債ノ欄ニ記入シ、資産負債ヲ明カニスルモノニシテ、資産合計ト負債合計トヲ比較シ、資産合計ガ負債合計ヨリ多キトキハ其ノ差額ハ純益ヲ示シ、之ニ反シテ負債合計ガ資産合計ヲ超過スルトキハ其ノ超過セル金額ハ純損失ヲ示スモノナリ。而シテ損益表ニ於ケル純損益金額ト貸借對照表ニ於ケル純損益金額トハ常ニ一致スベキモノナリ。

以上述べタルガ如ク試算表、棚卸表、損益表及ビ貸借對照表ヲ調製シ全然帳簿記入ニ誤ナキコトヲ確メタル上ハ元帳ノ決算ヲ行フモノトス。元帳ノ決算法ニ種種アリト雖モ茲ニハ是等ノ詳細ナル説明ヲ省略シ我が國一般ニ行ハルル繰越決算ノ順序方法ヲ示スベシ。

- 甲 決算ノ時ニ至ルマデ未ダ損益勘定ヲ開カザルトキハ損益勘定ノ口座ヲ設クベシ。
- 乙 棚卸表ニ依リ其ノ既ニ設ケタル口座ニ適當スルモノハ其ノ勘定口座ノ貸方又ハ借方ニ赤いんきニテ繰越記入ヲナス未ダ開カザル勘定口座ニ屬スルモノハ其ノ勘定口座ヲ開キ黒いんきニテ記入ヲナスベシ。
- 丙 資本金勘定ヲ除キ順次ニ他ノ勘定ニ於テ其ノ貸借差額ヲ資産負債ニ屬スルモノハ少キ方ニ赤いんきニテ其ノ摘要ヲ繰越ト記入シ、損益ニ屬スルモノハ各勘定ノ差額ヲ其ノ少キ方ニ赤いんきニテ其ノ摘要ヲ損益ト記入シ、同時ニ其ノ借方ニアルモノハ損益勘定ノ貸方ニ其ノ貸方ニアルモノハ損益勘定ノ借方ニ黒いんきニテ轉記スベシ。
- 丁 損益勘定貸借ノ差額ハ其ノ少キ方ニ赤いんきニテ其ノ摘要ヲ資本金ト記入シ、同時ニ黒いんきニテ其ノ借方ニアルモノハ資本金勘定ノ貸方ニ其ノ貸方ニアルモノハ資本金勘定ノ借方ニ其ノ摘要ヲ損益トシテ轉記スベシ。
- 戊 資本金勘定貸借ノ差額ハ赤いんきニテ其ノ少キ方ニ繰越記入ヲナスベシ。
- 己 各勘定口座ヲ順次ニ貸借合計ノ上締切ルベシ。
- 庚 各勘定口座ニ於テ繰越記入セラレタルモノニ對シテ黒いんきニテ其ノ借方ニアルモノハ貸方ニ貸方ニアルモノハ借方ニ繰越記入ヲナスベシ。

第五例題

大正二年七月一日現在資産次ノ通り

現金	手許有高金八百貳圓八拾錢也
田地拾町五段歩	見積代價金壹萬六千八百圓也
畑地五町歩	見積代價金五千圓也
宅地及ビ建物	見積代價金壹千圓也
銀行預金	現在高 金參百五拾圓也
公債證書	額面金五百圓也 金九拾五圓替 金四百七拾五圓也
農具及ビ雜品	見積代價金壹百參拾圓也
牛馬各壹頭	見積代價金七拾圓也
藏米	百六拾俵 金七圓貳拾錢替 金壹千壹百五拾貳圓也
家具及ビ消耗品	見積代價金四百貳拾圓也
貸付金參口	金貳百拾圓也
肥料殘品	見積代價金貳拾圓也

- 一 日 工藤喜助ヨリ同人ニ對スル貸付金元金七拾圓及ビ利息金貳圓參拾參錢參厘ヲ現金ニテ受取ル
- 二 日 下女貳人及ビ下男參人給料半箇年分金九拾九圓ヲ支拂フ
- 三 日 中村作兵衛ヨリ同人ニ對スル貸付金元金

- 八拾圓及ビ利息金貳圓六拾六錢七厘ヲ現金ニテ受取ル
- 七月五日 山口萬助ヨリ同人ニ對スル貸付金元金六拾圓及ビ利息金壹圓五拾錢ヲ現金ニテ受取ル
- 六 日 洋傘及ビ履物買入代金拾五圓ヲ支拂フ
- 十一日 吳服物類掛代金八拾五圓ヲ支拂フ
- 同日 小間物類掛代金七圓五拾錢ヲ支拂フ
- 十二日 什器買入代金拾貳圓ヲ支拂フ
- 廿五日 萬歲銀行へ預金トシテ金參百五拾圓ヲ預入ル
- 廿六日 萬歲銀行ヨリ預金利息ヲ受取ル此ノ金八圓八拾壹錢也
- 卅一日 本月中諸雜費支拂高金壹百五拾參圓五拾錢也
- 八月七日 害蟲驅除用藥品ヲ買入ル此ノ代金七圓五拾錢也
- 十五日 佐藤文太郎へ現金ニテ賣渡ス
藏米 壹百俵 金七圓貳拾五錢替
- 十六日 萬歲銀行へ預金トシテ金四百圓ヲ預入ル
- 十七日 肥料ヲ買入ル此ノ代金貳百參拾五圓也
- 卅一日 本月中諸雜費支拂高金參拾壹圓五拾錢也
- 九月一日 萬歲銀行預金ヨリ金貳百圓ヲ引出ス
- 同日 工藤喜助へ利率年壹割期限參箇月ニテ金七拾圓ヲ貸渡ス

九月二日 山口萬助へ利率年壹割期限參箇月ニテ金六拾圓ヲ貸渡ス

同日 五十嵐作太郎へ利率年壹割期限參箇月ニテ金七拾圓ヲ貸渡ス

十五日 農具買入代金及ビ修繕費ヲ支拂フ此ノ金貳拾五圓也

廿四日 萬歳銀行預金ヨリ金百五拾圓ヲ引出ス

廿五日 畑租宅地租所得稅並ビニ附加稅等金百參拾圓四拾貳錢ヲ支拂フ

三十日 本月中諸雜費支拂高金參拾九圓七拾錢也

十月十日 果實類賣拂代金貳拾五圓也

卅一日 本月中諸雜費支拂高金參拾壹圓參拾錢也

十一月五日 臨時雇人費金四圓ヲ支拂フ

十五日 臨時雇人費金七圓五拾錢ヲ支拂フ

十六日 木村半兵衛へ現金ニテ賣渡ス
藏米 貳拾俵 金七圓參拾錢替

廿四日 萬歳銀行預金ヨリ金五拾圓ヲ引出ス

廿五日 畑租宅地租所得稅並ビニ附加稅等金百參拾圓四拾貳錢ヲ支拂フ

廿九日 臨時雇人費金七圓五拾錢ヲ支拂フ

三十日 本月中諸雜費支拂高金參拾圓七拾錢也

十二月一日 蔬菜類賣渡代金九圓六拾錢也

同日 工藤喜助ヨリ貸付金元金七拾圓並ビニ利息金壹圓七拾五錢ヲ受取ル

二日 山口萬助ヨリ貸付金元金六拾圓並ビニ利

息金壹圓五拾錢ヲ受取ル

十二月二日 五十嵐作太郎ヨリ貸付金元金七拾圓並ビニ利息金壹圓七拾五錢ヲ受取ル

三日 萬歳銀行へ預金トシテ金貳百圓ヲ預入ル

五日 糶米及ビ藥賣渡代金貳拾五圓五拾錢ヲ受取ル

九日 公債利息金拾貳圓五拾錢ヲ受取ル

十日 臨時雇人費金八圓五拾錢ヲ支拂フ

十四日 本年分小作米及ビ自作米ヲ藏米へ振替ヲナス
四百五俵 金七圓貳拾錢替

十五日 佐藤文太郎へ現金ニテ賣渡ス
藏米 壹百俵 金七圓貳拾錢替

十六日 萬歳銀行へ預金トシテ金五百五拾圓ヲ預入ル

同日 下女貳人及ビ下男參人給料半箇年分金九拾九圓ヲ支拂フ

十七日 吳服物類掛代金五拾壹圓五拾錢ヲ支拂フ

二十日 薪炭ヲ買入ル此ノ代金參拾五圓七拾錢也

廿二日 什器ヲ買入ル此ノ代金貳拾五圓七拾錢也

卅一日 本月中諸雜費支拂高金百五拾參圓八拾錢也

同日 七月一日ヨリ本日ニ至ル自家使用飯米高藏米四拾俵金七圓貳拾錢替此ノ代金貳百八拾八圓也

241.63-1-2b

K141.63-1-2b

大正二年三月四日印刷
大正二年三月六日發行

小學簿記說明ノ部教師用

定價金四錢

著作權所有

兼發行 著者 文 部 省

大正二年三月十一日翻刻印刷
大正二年三月十三日文部省檢查濟
大正二年三月廿四日翻刻發行

大阪市南區灘波芦原町千八百八十八番地ノ九

翻發行 刻者

大阪書籍株式會社

代表者 三木佐助

東京市日本橋區通一丁目十九番地

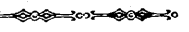
印刷者

大倉保五郎

東京市京橋區新榮町五丁目七番地

印刷所

大倉印刷所



東京市日本橋區新右衛門町十六番地

發賣所 株式會社 國定教科書共同販賣所

4
691